

防
災
訓
練

顧客支援にも対応

ACKグループ

ACKグループは8月30日、グループ各社の全国20カ所を超える拠点で全役員参加による「全社一斉防災訓練」を実施した。午前中は東海・東南海・南海地震の発生による広域災害、午後からは東北地方東部を中心とした集中豪雨による局地的な被害を想定し、顧客からの支援要請への対応についても訓練した。

地震に対する訓練では、中部、近畿、四国地方の各拠点に現地災害対策本部を設置。役職員の安否確認や役割分担の明確化、事業復旧時期の判断など、初動対応の一連の流れを確認し、夕方には役員2228人全員の安否を確認した。ACKグループ本社にも災害対策本部を設置し、グループ各社



の災害対策委員会から報告される各種情報の対応・判断についても訓練した。写真。

豪雨災害の訓練では、同グループの強みを生かした支援活動ができるよう、各社の連携体制を定めた「BCP顧客対応編」に沿って、被災した地域に近い拠点が中心となり、各社の連携手順の理解、実践をテーマに実施した。

同グループは、今回の訓練で洗い出された課題をさらなる改善に役立て、引き続き確実な業務継続に向けて行動するとともに、顧客からの災害支援要請に応えることで地域の災害復旧にいち早く貢献できるように行動していく方針だ。